

よこごし本の杜

地域の皆さんからお読みにになった本が来場された方の目にとまり、手に取り、本をめくる時間をプレゼント。“皆さまからぜひ読んでほしい”と思う私が薦める本をご提供ください。

★提供いただける対象の本

- 他の方にも読んでほしいなあと思う(思える)本
- 今後自身で読むことがないと思う(思える)本

★提供場所(受付窓口)

横越地区公民館

★よこごし本の杜にある本は…

自由に持ち帰りOK。持ち帰り期間自由。

※横越地区図書室にある本はきまり

にもとづいて本を借用・返却してください。

春季

だれもが弾けるピアノ

- ★いつ 3月 18日(水) 28日(土)
4月 8日(水) 18日(土) 26日(日)
5月 10日(日) 20日(水) 30日(土)

★どこで 横越地区公民館多目的ホール

★弾けるピアノ アップライトピアノ
(ヤマハb121 ディアパッソン)

★申込み 電話、メール、Faxにて横越地区公民館へ。

※詳細は当館ホームページをご覧ください。

※だれもが弾けるピアノの日は、ピアノの音が漏れ聞こえてきます。ご了承ください。



横越地区公民館で弾けるピアノはグランドピアノではありません。

横風

たより

春号

横越地区公民館

回覧

言葉の蕾(つぼみ)

新潟市横越地区公民館
館長 山本 英二

2011年3月11日14時46分から15年が経ちました。戦後最悪の自然災害による死者・行方不明者数は2万人を超え、再生の歩みは見られたとはいえ、復興は道半ばの感があります。

人は悲しいかな忘れる生き物であり、年月とともに記憶があいまいになっていきますが、地震発生後、TVやラジオから聞こえてくる被災された方の言葉は短いのが特徴だったことを覚えています。被災に遭われた方は誰もが聞いてわかる言葉を口にし、TVから流れるCM(公共広告)も優しいメッセージが主でした。被災された人から発せられる短い言葉に、短い言葉で応え、被災地の力になられた人も大勢いるかと思えます。

昨年、不登校など学校へ行きづらさをもっている子の保護者を対象にした事業を行いました。参加者同士が言葉を交わすことで気持ちが落ち着いたり、一歩前へという気持ちになったりしたようです。

東日本大震災しかり、学校へ行きづらさをもっている子の保護者しかりで、人は言葉のもつ力で前へ進めるのではないかと思います。わかりやすい、誰にでも届く飾らない言葉が傷ついている人や不安を抱えている人に寄り添ったり、新たな居場所につながったり、周りの共感を呼んだりするのかもしれない。

三月となり、日を追うごとに空気が寒から暖へと衣替えしていくなか、世代問わずあちこちで別れの時間が見られます。そこに集う人たちはどんな言葉を交わすのか。「ありがとうございました」「お世話になりました」「じゃあな」「またね」「さようなら」などとともに添えられた言葉が、時が経ち「あの時の言葉が……」ということになるかもしれません。言葉が蕾(つぼみ)となり、その先の確かな芽や花につながるような“暖(ぬくもり)のあるもの”になればと思います。

春を待ちわびていたかのようにこどもたちのはしゃぐ姿が見られ、当館を利用する皆さまの声もどこか弾んでるようです。人が集まれば言葉が生まれます。まもなく新しい一年(令和8年度)が始まりますが、当館でも地域の皆さまと交わす言葉が蕾となり、いい芽を吹かせていきたいと考えています。

次の春夏秋冬もよろしくお祈りします。

横越文芸誌(春号) 作品(俳句・短歌・川柳) 募集

- 応募数 1人5句(5首)まで
 - 俳句のお題 春季雑詠
 - 応募メ切 4月10日(金曜)
 - 応募方法 はがき・封書・FAXで、原稿末尾に住所・氏名・俳号等(ある方)電話番号を明記してご応募ください。
 - 応募先 横越地区公民館「横越文芸誌」係
- ※横越文芸誌は年4回発行。春号は5月末に発行で横越地区公民館にあります。



横越地区公民館

【発行 新潟市横越地区公民館 〒950-0218 新潟市江南区いぶき野1-1-2】

▼ TEL 025-385-2043 FAX 025-385-4431 Mail yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp

▼ 開館時間 月曜～土曜 9:00～21:30 日曜 9:00～17:30

▼ 休館日 第4月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/29～1/3)



スピーカー 新潟中蒲地区保護司会江南支部 横越地区

横越を支える人たちの話を聴くシリーズ。6回目は新潟中蒲地区保護司会江南支部 横越地区です。

●事業のくわしいことは
あらためてご案内します。

どまんなか 横越っ子 大作戦

令和8年度もやります



横越の子どもたちを育もう”。そんな想いから、横越地区公民館では地域や学校(横越小・中)と力を合わせ、子どもたちがどまんなか
に立って、周りの大人との交流や新たな体験に出逢える場を支援して
います。子どもたちが『横越で育ってよかった』と思ってもらえるよう、
何ができるか……、そんな目線で事業を実施します。

令和8年度事業(対象 小学生・中学生) ★対象 小学生 ☆対象 中学生

★横越ごはん塾

食を大切に子どもに。親子でみそづくり。ごはんのみそ汁づくり。
「食」をテーマにしたお話(話し手 比良松 道一 さん)

★横越がっつり塾

ものづくりをテーマにした体験塾。

★こどものあそびば

遊びが好きな子どもに。
子どもの居場所づくりと交流。

★横越ぐるバスさんぽ

親子で横越の食を支える人を
訪ね、想いにふれます。

☆横越っ子明日
(みらい)への扉

成長とともに選択する力を身につけて…
人生の選択をしてきた先輩のお話と交流

☆横越っ子
テスト前の頑張リルーム

公民館を活用した子どもの学習の場の支援
テスト前の勉強を応援します。

★横越っ子に届ける
☆ 人権たいむ

「子どもの人権」をテーマにした
お話。おとな編として、教職員と
地域との意見交換もあり。

★横越っ子
☆ものづくりくらぶ

子どもの
文化活動体験の場の支援



Q 保護司にはどんな役割があり、どのような活動をしていますか。

保護司は犯罪や非行を犯し、逮捕や補導されてしまった人が再び間違いを犯さないように、面接をし、相談に乗ったり、寄り添ったりする活動をしています。身分は非常勤の国家公務員で、無償ボランティアです。横越地区には4名の保護司がいます。

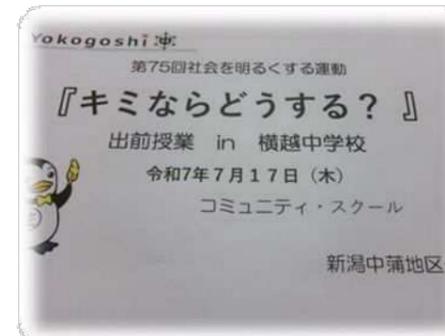
Q 保護観察中の人との面接で心がけていることは何ですか。

今は自宅で面接(月2回程度)しています。時間は1時間ぐらいで、遵守事項を確認したり、相談に乗ったりしています。犯罪や非行をした人でも、これからの人生があります。「ごめんなさい」と謝り、反省したのならば、その人がやり直し、更生しようと頑張っている姿を見守っていく社会や人の存在がとても大事です。犯罪や非行をした人でも全否定するのではなく、“人として”学ぶところがあり、保護観察中の人と面接するときは、いい時間を過ごせるよう心がけています。

Q 横越中学校へ出前授業をされたそうで。

昨年の7月、横越中学校2年生の前で授業をしました。保護司のことや「社会を明るくする運動」などについてお話しましたが、保護司の皆さんからはそれぞれ生徒たちにメッセージを送りました。横越地区4名の保護司とも横越中学校卒業生ですが、メッセージには後輩たちにどう生きていってほしいのかという願いが入っていました。

犯罪や非行をしても、その人が生まれ変わって、立ち直って、やり直すことができるよう、「おかえりないさい」と迎え入れるしくみがあるといいです。それには子どもを含む地域の人たちの理解と優しさも協力も必要になってきます。これからも保護司活動を通じて、地域と関わりながら社会を明るくする取り組みを進めていきます。



私たちの願い
明るい社会を作るためには
夢の実現の過程で得た経験(失敗
が人間を育て上げる。
目暴自棄となっても道にそれず
正しい考え方のできる人間に
それが私達保護司の願いです。
新潟中蒲地区保護司会

※横越地区公民館は、保護司の活動を理解し、保護司と保護観察中の人とが面接する場所の一つとして部屋の提供に努めます。